

会場名： 島根県会場

プログラム番号： 5-2

課題名： 薬液注入工『エキスパッカーN工法』による液状化対策技術

質問1

- ・二重管ダブルパッカー工法との相違点（比較内容及び効果）を教えてください
（金額比較、工期比較、削孔長＝改良深（施工可能深度）、施工状況の比較（施工条件の違い））

回答1

- ・大きな相違点は、二重管ダブルパッカ工法は基本的には“仮設”（3年程度）を対象としており、エキスパッカー-N工法は“恒久”を対象としております。よって薬液注入工法による液状化対策として選定する場合、当社では一般的にエキスパッカー-N工法となります。

エキスパッカー-N工法は、ダブルパッカ工法が“点”からの注入であることに対して、大きな浸透源を有することにより“面”からの注入を可能としております。それにより、従来の工法に比べより高い浸透性を得ることができ、単位時間当たり吐出量の増加および1箇所からの浸透範囲を増大することを可能としました。

その結果、経済的な注入速度による工期短縮、平面的な孔本数の大幅な削減となり、ダブルパッカ工法に比べ、工費を縮減することが出来ます。

	エキスパッカー-N工法	ダブルパッカ工法
施工費（注入量10当り）	80円/0	100円/0
工期比較（100k0当り）	7日	11日
単位吐出量	150/分※土質により調整	90/分
1本当り対象面積（標準）	1本/6m ² 程度	1本/1m ² 程度
削孔長（改良深度）、施工条件に関しては、違いは特にございませ		

質問2

- ・今後、NETIS登録を行う予定なのですか？

回答2

- ・エキスパッカー-N工法はNETISにすでに登録されております。

登録番号 : KK-080040-A

登録年月日 : 2009年1月7日
